

令和7年度 出前講座一覧<道路・橋>

No	講座名・講座内容	講師所属・役職	講師名	講座時間	講座対象									出前範囲	WEB対応	ご準備いただきたい機材
					小学生 低学年	小学生 中学年	小学生 高学年	中学生	高校生	大学生	社会人	その他				
2	<u>みんなの暮らしに役立ち みんなの環境を守る道路</u> 道路には暮らしを支えるさまざまな役割があり、役割を果たしながら生活環境・自然環境・地球環境を守るための工夫をしています。どのような工夫があるのかをわかりやすく紹介します。	企画部 インフラ情報高度利用技術研究官	大城 温	30～60分 (ご要望に応じて調整します)			○	○	○				全国	○	パソコン用プロジェクタ	
3	<u>国総研の仕事</u> 国土技術政策総合研究所(国総研)では、社会や経済活動、国民の生活を支える基盤となる施設や設備(上下水道、河川、道路、建築・住宅等)であるインフラ(インフラストラクチャー)に関する研究を行っています。 インフラにはどのような役割があり、どのような研究を行っているかを紹介します。キャリア学習として、他の研究所などと連携した紹介も可能です。	企画部 主任研究官	濱田 悠貴 長屋 和宏	45～50分(ご要望に応じて調整します)	○	○	○	○	○	○			全国	○	パソコン用プロジェクタ	
4	<u>災害から身を守るために</u> 今後発生が予測される首都直下地震や南海トラフ巨大地震等の地震災害や様々な災害に遭わないようにするための備えなどについて、紹介します。講座では、近年に発生した災害事例や備えるべき災害、国土交通省の取り組みなどもご紹介します。小・中学校における防災単元(防災マップなど)やゲームを使った児童・生徒を対象とした講座、学校の先生や地域の方々を対象とした講習会等にも対応します。【つくば科学教育マイスター】	企画部 主任研究官	長屋 和宏		○	○	○	○	○	○	○		全国		パソコン用プロジェクタ	
12	<u>道路交通調査の新たな展開</u> 365日24時間の交通データの収集を基本とする道路交通調査について、取り組みを支える旅行速度及び交通量の常時観測の方法及び観測したデータの活用方法について紹介します。	道路交通研究部 道路研究室 室長	土肥 学	60分									行政関係者	全国	○	パソコン用プロジェクタ
		道路交通研究部 道路研究室 主任研究官	尾崎 悠太													
		道路交通研究部 道路研究室 主任研究官	瀧本 真理													
13	<u>道路の幾何構造基準について</u> 道路は市民生活や経済活動を支える最も基礎的な社会資本であり、交通機能のほか、ライフラインの収容空間など、極めて重要な役割を担っています。本講座では、道路を新設・改築する場合における一般的技術的基準である道路構造令について紹介します。	道路交通研究部 道路研究室 室長	土肥 学	60分									行政関係者	全国	○	パソコン用プロジェクタ
		道路交通研究部 道路研究室 主任研究官	田中 良寛													
14	<u>道路の交通容量について</u> 諸外国と比較して日本の都市間連絡速度は低く、道路ネットワーク全体のサービス向上が求められています。本講座では、道路を設計する際の交通容量の考え方、ボトルネックの交通状況の評価、求められるサービスレベルを確保する道路計画の考え方等について紹介します。	道路交通研究部 道路研究室 室長	土肥 学	60分									行政関係者	全国	○	パソコン用プロジェクタ
		道路交通研究部 道路研究室 主任研究官	河本 直志													
15	<u>安全で快適な自転車利用環境について</u> 健康増進や環境への意識の高まり、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた生活スタイル・社会の変化によって、自転車利用のニーズが一段と高まっています。これを受け、自転車が安全で快適な自転車利用環境を形成することが望まれています。その中でも重要な、自転車通行空間について、その構造や、整備の進め方について紹介します。	道路交通研究部 道路交通安全研究室 室長	大橋 幸子	30分～90分	○	○	○	○	○	○	○		行政関係者	全国	○	パソコン用プロジェクタ
		道路交通研究部 道路交通安全研究室 主任研究官	藤田 裕士													
16	<u>幹線道路の交通安全対策</u> 幹線道路における交通事故は、特定の箇所に集中して発生しているという特徴があります。このような箇所や、潜在的な危険箇所を交通事故のデータやETC2.0プローブ情報を用いて抽出し、事故や危険事象の発生状況に応じた対策の立案・実施を行っています。こうした一連の交通安全対策の進め方や、支える技術を紹介いたします。	道路交通研究部 道路交通安全研究室 室長	大橋 幸子	30分～90分									行政関係者	全国	○	パソコン用プロジェクタ
		道路交通研究部 道路交通安全研究室 主任研究官	島崎 秋伸													
17	<u>通学路・生活道路における道路からの交通安全対策</u> 通学路や生活道路の交通安全を求める意識が高まっています。本講座では、生活道路における道路からの事故対策について、現在進められている取組みと、各種データ等を活用した対策の立案手法、ハンブ・狹窄部・屈曲部の設置計画手法やその導入事例などを紹介します。	道路交通研究部 道路交通安全研究室 室長	大橋 幸子	30分～90分	○	○	○	○	○	○	○		行政関係者	全国	○	パソコン用プロジェクタ
		道路交通研究部 道路交通安全研究室 主任研究官	山下 英夫 藤田 裕士													

No	講座名・講座内容	講師所属・役職	講師名	講座時間	講座対象								出前範囲	WEB対応	ご準備いただきたい機材	
					小学生 低学年	小学生 中学年	小学生 高学年	中学生	高校生	大学生	社会人	その他				
24	橋をつくる(道路橋の設計と施工) 道路橋の設計・施工に関連して、橋の形式とその特徴や歴史などの紹介から、橋梁の設計の考え方、架設方法など施工に関する技術の紹介を図や写真などを用いてわかりやすく紹介します。 橋の構造などをわかりやすく説明する一般向けの講義と、設計や品質管理などに関する技術を解説する実務者向けの講義を用意しております。	道路構造物研究部 橋梁研究室 室長	白戸 真大										全国	○	パソコン用プロジェクト	
		道路構造物研究部 橋梁研究室 主任研究官	岡田 太賀雄													
		道路構造物研究部 橋梁研究室 主任研究官	瀧本 耕大			○	○	○	○	○						
		道路構造物研究部 橋梁研究室 主任研究官	松藤 洋照													
		道路構造物研究部 橋梁研究室 主任研究官	今城 由貴													
		道路構造物研究部 橋梁研究室 主任研究官	横井 芳輝													
25	道路ネットワークを支える道路構造物の性能を決める技術基準とアセットマネジメントの全体像および関連の施策の動向について受講者の属性や目的に応じて最新情報を交えて講義します。	道路構造物研究部 道路構造物機能復旧研究官	玉越 隆史		○	○	○	○	○	○	○	○	全国	○	パソコン用プロジェクト	
26	道路構造物の技術基準と法定点検 道路橋を中心に、法定点検の趣旨と実施方法や留意点などについてわかりやすく解説します。 また、法定点検の適切な運用と品質向上のために、道路橋の構造特性や劣化特性、関連の設計技術基準などについて、土木系の大学・高校の学生、教員、社会人実務者(道路管理者、コンサルタント)など対象に応じてわかりやすく解説します。	道路構造物研究部 道路構造物機能復旧研究官	玉越 隆史						○	○	○	土木系大学生・大学院生 行政関係者 建設コンサルタント 点検従事者	全国	○	パソコン用プロジェクト 架橋現場での説明会形式による実施も可能です(機材等は条件により応談)	
31	交通ビッグデータ等の新技術を活用した、都市のコンパクト化・ウェルビーイング向上に向けた取り組みの考え方 携帯電話基地局データなどの信頼性の高い「交通ビッグデータ」の活用により、都市における人の流動が高度に把握・予測できるようになってきており、また一方で、自動運転などの新技術により、持続可能な全く新しいモビリティネットワークが計画・構築できようになってきているなど、多様なニーズを踏まえた暮らしやすい都市づくりに貢献するツール環境が近年急速に整ってきています。 そこで、これらの要素技術の可能性とあわせ、持続可能な都市のコンパクト化・ウェルビーイング向上に向けた取り組みの方向性についてご紹介します。	都市研究部 都市施設研究室 室長	新階 寛恭							○	○	○	行政関係者 民間技術者	関東周辺	○	パソコン用プロジェクトまたは大型モニター(できればHDMI接続)、レーザーポインタ
36	まちなかの各種パブリックスペース・モビリティの役割と有機的連携によるエリア価値向上の可能性 ～地域資源を活かしたライフスタイル提案型のアーバンデザイン～ まちなかの街路、広場、公園、河川、公共空地等のパブリックスペースは、誰に対しても開放された空間であり、人々の生活動線、多様な活動の拠点、周辺の土地利用促進、日々の営みの中での都市文化・地域性の醸成への貢献など、滞在者にとって重要な役割を担っています。また、まちなかのモビリティも重要で、近年はBRTやグリーンスローモビリティなど、様々な地域の資源や人々を繋ぐ新たな公共交通が普及しつつあります。それぞれの施設・機能の特性と、近年の全国における官民連携による空間再編プロジェクトの動きをふまえつつ、物理面、活動面、心理・社会面等からみた具体の役割を紹介するとともに、今後の効果的なまちづくりの展開として、有機的連携効果の活用方策と、継続的な実施による波及・相乗、そしてエリア価値向上への展開可能性について紹介します。	都市研究部 都市施設研究室 主任研究官	小笠原 裕光		○	○	○	○	○	○	○	○	一般市民 行政関係者 まちづくり団体 民間技術者 など	全国	○	パソコン用プロジェクト
37	ABP Challenge(Activity Based Planning Challenge) ～新たな交通行動分析手法を活用した都市交通プランニングの実現戦略～ 国総研では、都市生活者の個人単位の1日の活動・移動を再現し交通行動の将来シナリオ分析等が可能なアクティビティ・ベースド・シミュレータ(ABS)を活用し、Well-beingと持続可能性を両立した都市交通のプランニングを実現するため、全国の自治体・民間・大学等の関心層と取り組む共創プロジェクトに取り組んでいます。 プロジェクトの解説と現在の到達点、そして近未来のマスタープランニングのあり方について紹介します。	都市研究部 都市施設研究室 主任研究官	小笠原 裕光							○	○	一般市民 行政関係者 まちづくり団体 民間技術者 など	全国	○	パソコン用プロジェクト	
42	BIM/CIM原則適用による3次元データの利活用 本講座では、令和5年度からBIM/CIM(Building/Construction Information Modeling, Management)の原則適用に従い、国土交通省が取り組んでいる3次元モデル成果物の作成方法の明確化やBIM/CIM活用業務・活用工事に関する効果について、事例や動画・デモを交えながらわかりやすく説明します。 更に、令和6年度までに策定、改定された直轄土木業務・工事におけるBIM/CIM適用において実施又は参照する基準・要領等についても、解説します。	社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室 主任研究官	鈴木 淳史	約1時間						○	○	行政関係者 建設業関係者 など	全国	○	パソコン用プロジェクト	

No	講座名・講座内容	講師所属・役職	講師名	講座時間	講座対象								出前範囲	WEB対応	ご準備いただきたい機材	
					小学生 低学年	小学生 中学年	小学生 高学年	中学生	高校生	大学生	社会人	その他				
44	<p>都市空間の魅力の増進(居心地の向上や活気・賑わいの創出)</p> <p>都市のサステナビリティや地方創生・都市再生・中心市街地活性化等のために、都市空間の魅力を増進(居心地の向上や活気・賑わいの創出)することへの注目が高まり、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり～ウォークアブルなまちなかの形成～」等の取り組みが広がってきています。オープンスペースの居心地の向上や活気・賑わいの創出、補助金に依存しない自律的継続的な民間主導まちづくり活動の支援の仕方、歩行空間の「利用」と「利用を前提としたデザイン」、デザインと事業性の両立などに関する基礎的な考え方について、「十二表法」(紀元前450年頃)から現代まで約2500年間の主要文献をレビューし、国土交通省・UR都市機構・実務者・建築学会・大学・大学院デザイン専攻者等への講義等を行ない、国土交通省「プレイスメイキング・シンポジウム2014」「ストリートデザインガイドライン(2020年3月)」等を政策企画立案・技術支援した担当者をご紹介します。</p> <p>初学者向け(90分程度、WEB開催可)には筆者レポートを用いるほか、都市デザインに係る行政関係者や社会実験を行なう都市計画コンサルタント等向け(1.5～2.0日、対面)にはプレイスメイキング・景観工学等を社会実装するための基礎的事項に係る座学・実技指導、大学・大学院のデザイン専攻者向け(1コマ程度、対面)には、ウィトル＝ウィウス『建築書』(紀元前30年頃)以降のバイオニアのデザイン関連主要文献・論文(芦原義信、ヤン・ゲール、北原理雄、クリストファー・アレグザンダー、イアン・ペントレイ、佐藤圭二、渡和由、鈴木俊治、デビッド・シム、島原万丈など)、英国・NYCのデザインガイドライン等を課題図書とし、実際の記述を確認しながら、具体的な形質・寸法、社会実装の事例、経済効果等について学び、実務に携わるための総合的視点を養います。</p>	社会資本マネジメント研究センター 建設経済・環境研究室 室長	富田 興二								○	○	パブリックスペース・パブリックライフ関係者 都市デザイン関係者 行政関係者・研究者・教育者・出版関係者 大学・大学院デザイン専攻者	全国	○	<p>パソコン、パソコン用プロジェクト、インターネット通信環境、レーザーポインタ(対面の場合)</p> <p>参考資料: 初学者向け筆者レポートとして、島原万丈、富田興二ほか共著(2015)「Sensuous City[官能都市]―身体で経験する都市: センシユアス・シティ・ランキング」(9. 都市政策の立脚点は”アクティビティ”である) ((LIFULL HOME'S総研HP https://www.homes.co.jp/souken/report/201509/) からダウンロード可)</p>
46	<p>街路樹の役割と維持管理</p> <p>街路樹は、緑陰や良好な景観の形成、生活環境及び自然環境の保全、交通安全、防災など多岐にわたる機能があるほか、地球温暖化問題が深刻となっている現在では都市域の二酸化炭素の吸収源としての役割も期待されています。本講座では、これらの役割について説明するとともに、街路樹を適切に維持するために必要となる点検・診断方法などについて解説します。</p>	社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室 主任研究官	飯塚 康雄	約1時間								○	一般社会人、行政関係者、造園業関係者など	全国		パソコン用プロジェクト